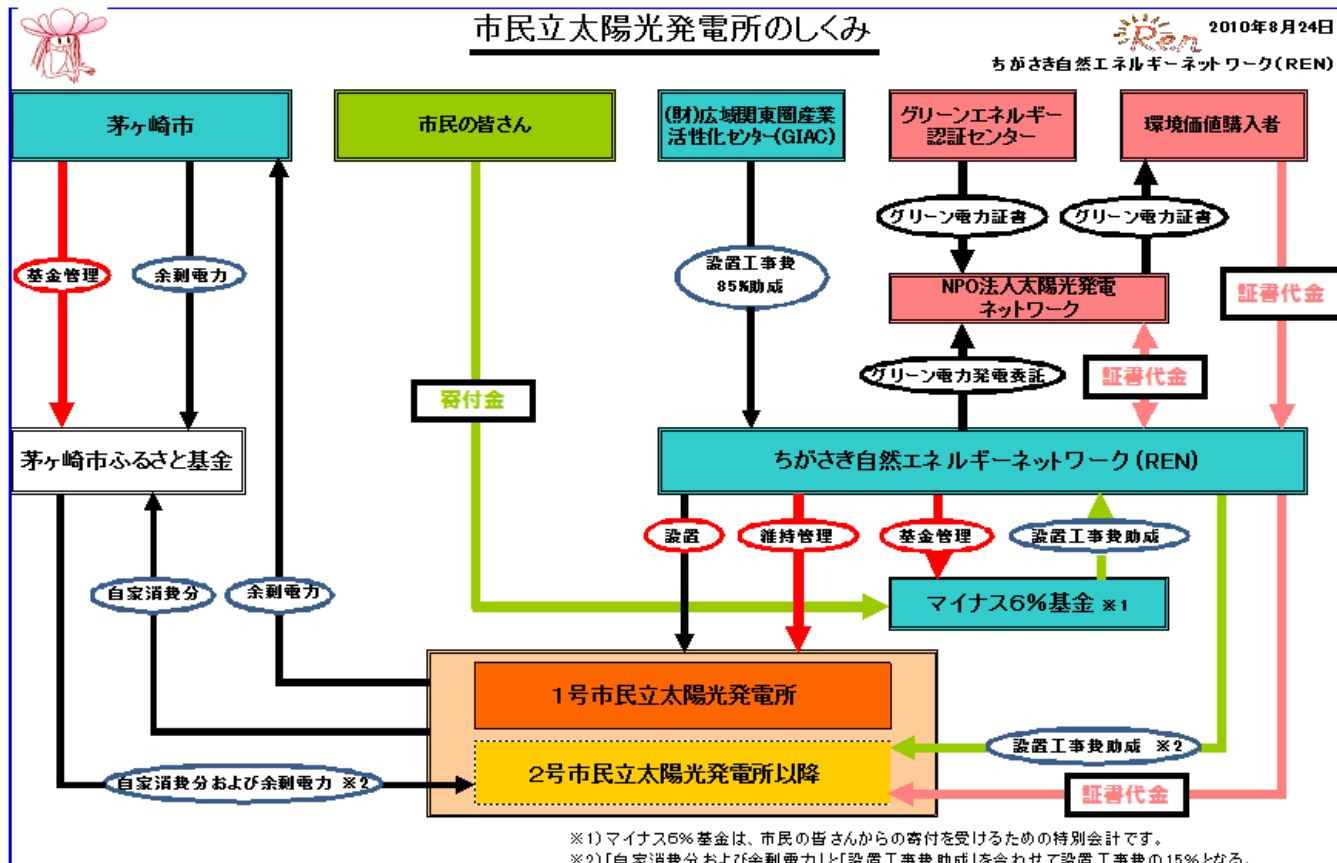


●RENが目指す「持続可能な仕組み」とは

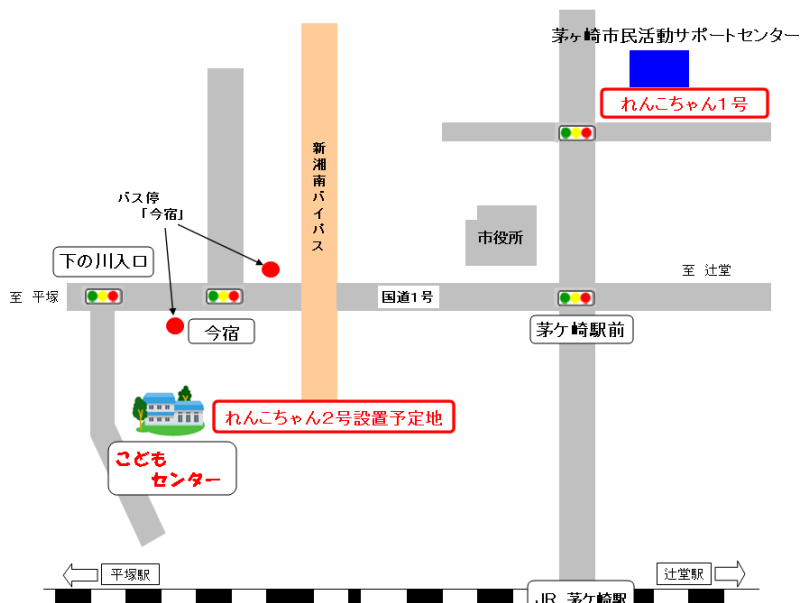
「市民立太陽光発電所」は、茅ヶ崎市より目的外使用の許可を得て、税金を使わず市民の想いと意志あるお金で設置されます。公共施設に設置した場合、発電した電気はその施設で使用し、発電による電気料金の削減分や売電料金が設置団体に戻ることはありません。しかし、私たちは次の発電所の設置費用とするために、持続可能な仕組み作りをこたわり、茅ヶ崎市と協議を続けました。その結果、目的を限定する「ふるさと基金」に入れる事で2号機以降の費用に充てる事ができるようになりました。発電所が増えて行けば、そこから生まれるエネルギーと市民の想いと意志あるお金も、次の発電所設置へと循環していきます。



●計画概要

この事業は、ちがさき自然エネルギーネットワーク(REN)が、茅ヶ崎市の許可を得て、茅ヶ崎市こどもセンターに「市民立」の太陽光発電所「れんこちゃん2号」を設置するものです。

費用は、市民からの寄付と、グリーン電力基金(地域協働プロジェクト)から設置費用の85%の助成金、2009年7月に設置した「れんこちゃん1号」で発電した電気料金と売電料金(2009年7月分~2010年12月分)でまかなう計画です。



●ちがさき自然エネルギーネットワーク (REN)

CHIGASAKI RENEWABLE ENERGY NETWORK (REN)

1999年3月設立。地球温暖化防止と持続可能な社会を目指して、自然エネルギーの普及啓発と省エネを推進しています。エネルギー自給率4%という、先進国の中では最低の日本。降り注ぐ太陽の恵みをいかして、茅ヶ崎で産まれた電気を茅ヶ崎で消費し、エネルギー自給率アップを目指します。